

誓いに新たに



希望に燃える新成人たち（内城田中で）

はなやかに成人式

七十八人が晴れておとなに

満二十才を迎えた人々を祝する成人式が、十五日の内城田中学校屋内体育操場に村内の新成人を招いて、はなやかに行なわれまし

ことしの新成人たちは、戦の年にうぶ声をあげた戦後っ子で、昨年より五十人少ない男四十一人、女三十七人の

七十八人。苦難にみちた戦後の日本の歴史そのままに、いまは立派に成長した姿は、明るくたの

この日の空は

若者たちの門出を祝福するよう一点の曇もなく快晴に恵まれ会場正面に設けられた受付は、晴れ着に着飾った女子の成人者でばつと花が咲いたように美しかった。

式は、まず参列者全員が伊勢神宮に対してよう拝、つづいて大野村長が「成人のめでたい日を迎えたのは、ご両親の苦労の賜です。社会人としての自覚と責任ある行動を」とあいさつ村議会議長、教育委員長ら来賓

の祝辞があり、ついで、成人代表の福井カツさん（大野木）に記念品としてアルバムが贈られました。このあと新成人を代表して中村敏郎君（棚橋）が「みなさんのご教訓を胸にきざみ立派な社会人として生きぬきます」と謝辞として生きぬきます」と謝辞を述べ、記念撮影をして式は終了しました。

前号国民年金の記事中「受給資格の特例」に該当する人で明治四十三年四月二日とあるは、明治四十四年四月二日の誤りです。訂正します。

訂正

一月十五日の成人の日、本村では七十八人の人たちが大人の仲間入りをしました。これら満二十才を迎えた人たちは、日本国民としてのあらゆる権利と義務が与えられ、名実ともに社会の一員としてスタートするわけです。

国民年金に加入することでも大きな義務の一つといえます。この国民年金は、昭和三十六年に農業、漁業、商工業者など、これまで年金制度のなかった人たちのために生れたもので、老後の生活保障や不測の事故に備えて、働ける間に保険料（掛金）を納めて、あとで年金

成人と国民年金

をもらって安定した生活が送れるようにという社会保障制度の一つです。加入しなければならぬ人は、二十才から六十才未満の人で厚生年金や各種の共済組合に加入していない人たちが納める保険料は二十才から三十四才までが月額百円、三十五才から六十

才までが月額百五十円です。加入の手続きは、満二十才を迎えた月から二十日以内「国民年金被保険者取得届」を村長に届けるとなっております。用紙は村庁民政課に備えてありますから、該当の方は、いまずぐ加入手続きをして下さい。

郷土の守りはわれらが

盛大だった消防出初式

新春をかざる恒例の消防出初式が、一月七日一之瀬小学校校庭に、竹内伊勢警察署長ら来賓のほか、団員約百二十人が参加して盛大に行なわれました。

大野村長の観閲、機械器具の点検をうけたあと、ポンプ

操作、分列式など村消防の威力を披露しました。

このあと、消防功労者の表彰、退職者への記念品贈呈などが行なわれました。受賞者は次のみなさんです。

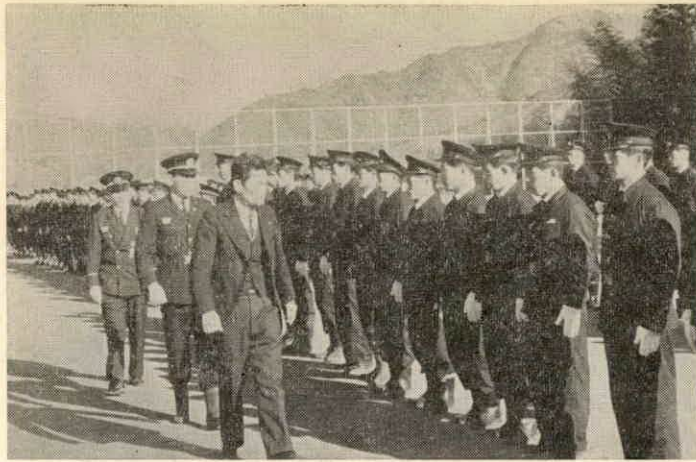
〔県消防協会会長表彰〕
米田稔(駒ヶ野) 中村輝夫(川口) 伊藤作蔵(栗原) 橋本延太郎(中之郷) 清水浩(牧戸)

〔村長表彰〕

高橋幸男(市場) 久保田克己(川口) 古森隆(栗原) 伊藤淳一(同) 萩田茂一(中之郷) 丸屋隆(立岡) 岡田福三(同) 山北武(平生) 下里和弘(牧戸) 入山道雄(棚橋) 山本幸博(同) 大北浩賢(同) 西村安司(大野木) 福井真信(同) 上村昇(田口) 中村幸生(麻加江) 森本忍(長原) 中西清美(立花) 北村隆生(立花) 中井利吉(同) 中村茂男(同) 小岸政裕(下久具)

▼感謝状へ退任▽坂本幸兵(前副団長) 味噌井幸重(同) 坂谷和美(前第三分団長) 細谷安司(前第四分団長)

〔刑事事件捜査協力者へ感謝状〕



大野村長の観閲

昨年十一月棚橋地内に発生した刑事事件に際して捜査等に協力した次の団体に、伊勢警察署長から感謝状が贈られました。

▽度会村防犯委員会(会長・大野真實) ▽棚橋区(区長・岡村才吉) ▽牧戸区(区長・清水寿) ▽大野木区(区長・山下牧蔵) ▽消防団第三分団 棚橋班(班長・入山道雄) ▽同牧戸班(班長・清水茂美)



明高度会分校を視察

— 県議会文教常任委員 —

校の募集定員増を陳情したの

県議会文教常任委員会の谷正信副委員長一行が、一月二十日、明高度会分校を視察のため来村しました。(小林委員長は所用のため前日単身同校を訪れました)これは、本村が昨年末の定例県議会に度会分校の募集定員増を陳情したの

〔写真は関係者から説明を聞く一行、左から、山下、山口、谷、中村の各県議〕

に伴ない、実地に同校の視察に訪れたものです。一行は、午前十時同校に到着、さっそく施設等の状況を見て回り、ついで大野村長や東明野高校長職務代理、前島主事から説明を聞きました。このあと村議会議員、同校PTA役員らをまじえ、谷副委員長から県議会での審議の模様等の報告をう

けましたが、席上大野村長は再度定員増について陳情しました。

なお、来村されたのは、谷正信、山口茂夫、山下晃、中村三喜之助の四県議と、県教育委員会の村上指導課長、来田管理課長、川戸施設課長、鈴木伊勢地方連絡室長、伊勢教育事務所長代理の西野信雄氏らでした。

丙午

ことしは午年(うまどし)とくに六十年目に一回といわれる丙午(ひのえうま)の年にあたります。

丙午の年に女の子を生んだら将来、嫁にやりにくく……など、いまだに地方によっては、この丙午をいみじうととらえるところが多いようですが、人間が月面に立とうという時、いまさら何年生れはどうかという時代でもありません。

元来、午年とか巳年などというのは方向をあらわす十二支(ね・うし・とら・う・たつ・み・うま・ひつじ・さる・とり・いぬ・い)から由来するといわれているもので、これが女性の将来に影響を及ぼすなど、全く迷信以外の何ものでもありません。

ことしは遠慮なく女の子を生んでもらって、ぜひこうした迷信の世界を打ち破る年としたいものです。

▼お詫

前号、度会分校定員増の記事中、県議会文教常任委員山下登とあるのは山下晃の誤りです。



かき村長大野貞

ことしの抱負

県道改良と

茶業の振興

サービス態勢の確立

天馬空を行く輝かしい新年を迎え、村民のみなさまに謹しんであいさつ申しました。村長に就任して早や三年目を迎える中、環境の整備等をめざし、徹力ながらも精いっぱいご奉仕してまいりました。幸いみなさんのご協力により、順調に改良が行なわれてきました。南島線では駒ヶ野地内、滝原線では、葛原、牧戸、立岡、長原、坂井、田口地内の拡幅工事の国庫および県費補助が決まり着手を待つばかりとなっております。

この年頭は感慨深いものがあります。この意義深い年を迎え、私は三つの柱をかかげ、これの実現に努力いたしたいと思います。その第一は、なんと云っても県道改良であります。

本村には、県道伊勢一南島線、伊勢一滝原線の二本が縦貫しておりますが、いづれも県道とは名ばかりの昔ながらの九尺道で、車両の激増、大型化が著しい。昨今、どうして

も拡幅が必要であります。基礎固めに明け暮れた十年間でありますれば、これからは真に新村としての力を発揮する時期であり、今年はその基礎盤の上になって第一歩を踏みだす意義深い年であろうと

私は、道路の整備こそ村発展のキーポイントと信じ、昨年から村内県道改良促進本部を設け、これらの箇所を重点的に拡幅にとめてまいりましたが、幸いみなさんのご協力により、順調に改良が行なわれてきました。

しかし、何分にもみなさんの先祖伝来の貴重な土地を無理願うわけで、つらい思いがいたしますが、みなさんの暖かいご協力を切に望みます。

次に、本村主産物「お茶」の振興であります。お茶は年々品質も向上し、毎年各種の品評会で好成绩をあげ、わたらい茶の名は、一だんと高まっておりますが、

ことは、十月に伊勢市で全国茶品評会が開催されるので、これに総力をあげて参加し、

わたらい茶の真価を全国的に広めるとともに、お茶による所得の増大をはかるために、強力にこれをバックアップして行きたい。

第三は、村民のみなさまへのサービス向上のため、たんの

に機器による事務改善にたよらず、職員自身が与えられた分野に責任をもって努力し、やりとげるといふ態勢を確立したいと思っております。

以上ことしの抱負ともいふべきものを披歴いたしました。

一月一日、庁舎屋上で拝賀式。屋上から見わたす茶園のみどりも宮川の流れも生き生きと新鮮でいかにも新年らしいたたずまいであった。

午前十時、山北主事の発声で宮城と神宮をよう拝、大野村長さんのあいさつがあった。

……ところがモーニング姿の村長さん、鼻からあごにかけての黒々とした見事なひげと伸ばしっぱなしの頭髪に職員一同びびり。

「村長さんひげをおかれらつのもりやろか。無精ひげかな」

「いやいや何かいわくがあるのやろ……」などなどあちこちでささやいていた。一月四日は御用始め、この日も、村長さんは見事にひげをはやし元旦そのままのいでたちで登庁。

まず、今年の村政執行の姿勢についてのべたあと、

「元且早々に山中振興課長から、なぜひげを伸ばしているのかとの質問をうけました。そのときは答えなかったが、今日はこのことに触れてみた。

実は、私は妻をめとるのが遅かったために、いま高等学校へ通っている。

入れた当時そのままに黒々としています。わが国では、鐘馗さんの像を五月人形に作ったりなどしますが、鐘馗さんは、ひげをのびし非常に努力丹精(たんせい)された人だということなんです。私は県庁にお世話になり、その後、村にもお世話になっておりますが、皆さんに対して万物に対してつねに感謝の気持ちを持っています。いけません。そこで新しい年を迎えるにあたり鐘馗さんのようにひげをのばして、鐘馗さんの心を心とし、耐えしのぶとともに万物に対して感謝の念を新たにしたいと考えてかかのごときひげをのばしているわけなんです。」

よってきたるわけを知った職員は、あらためて村長さんのひげを見なおした。

村長さんのヒゲ

鐘馗さんさながら

長男を授かったのは大変年をとってからでありました。したがってそのときの喜びは大きかったのではありませんが、ちようどその歳、鐘馗さんの像を手に入れました。そして今も大切におまつりしていただきますが、材質は千年たってもふくいくとした香りを失なわないといわれる楠でつくられています。

また見事なひげは手に

広報板

痘 そう 予 防 接 種

痘そう予防接種を次のとおり行ないます。該当者には別に通知いたします。

- ◎対象者 ①第1期 (S39.10.1~40.9.31)
- ②第2期 (ことし小学校へ入学するもの)
- ③第3期 (ことし小学校を卒業するもの)

◎料 金 無 料
◎日 程

- 2月15日 (1:30~2:30) 内城田小学校
- 2月16日 (10:00~11:00) 中川小学校
- 2月22日 (11:00~12:00) 小川郷小学校
- (1:30~2:30) 一之瀬小学校
- 2月23日 (1:30~2:30) 内城田小学校

2月の母子検診

2月の母子検診は次のとおり。

- <乳幼児検診> いずれも2時2月4日中川小学校、11日母子健康センター、18日一之瀬診療所、25日小川郷小学校
- <妊産婦検診> いずれ2時母子健康センターで2月2日、9日、16日、23日

身障者入所生を募集

三重県身体障害者更生指導所では、昭和41年度の入所生を次により募集しています。

- 1、募集科目 洋服科(紳士服) 編物科、
 膳写筆耕科、洋裁科
- 2、入所受付 2月末日
- 3、選考日 3月15日
- 4、入所期日 4月1日

入所申請については、度会村民政課か南勢志摩福祉事務所へお問い合わせ下さい。

ぼくのおとうさんは、いそがしい。やっとしごとからかえると、またでんわがかかってきます。だけど、しごとについてかえると、ときどきおかしをもらってきます。

だからしごとに行くとき、ぼくがいると「しごとにつれてやるうか」といいます。だけどぼくは、ともだちとあそびたいのでいきません。

おとうさんは、あさはやくしごとに行くときは、はやくおきますが、ふつうの日は、ぼくがごはんをたべおわっても、まだおきません。

だからぼくは、おこづかいをためて、めざましをかいたいとおもいます。だけど、まだ、そんなにおこづかいがたまりません。

おとうさんは、しごとに行くとき、きいろいヘルメットをかぶって、きいろいオートバイののって、すぐとんでい

△二等 西村寿郎(大野木)
△三等 中西幸助(中之郷) 同 福井勤(大野木)

みかん幼稚園品評会
西村さんら三人入賞

南勢志摩地区のみかん幼稚園品評会がこのほど行なわれ、本村から次の方々が入賞されました。

みかんご南勢町らにまじって三人もの入賞者を出したことは、本村のみかん栽培に明るいニュースです。

国民健康保険法が制定されたのは昭和十三年、当時旧小川郷村長の職にあった小生は、社会保障の一つとしてこの国民健康保険組合をなんとか設立しようと必要を説いて回った。

しかし、国民健康保険なんて始めてのことで、村内では相当非難もあり理解されるまでには苦労したが、どうにか村民皆保険にこぎつけることができ、郡内で第一番に設立

手かけた小生にとって、感銘深いものがあります。

(亀谷病院にて)

深いものがあります。

を見たのでした。そして、時の厚生大臣から表彰までうけました。

その後、各町村でも住民の健康を守る重要な機関として国保の必要性を感じ、だんだんに設立されていったようです。

以来国保も大へん充実されてきましたが、いま患者となつてその恩恵を受ける身となりましたが、つくづく国保のありがたさを感じています。

特に度会村は、本人負担が三割で、他町村の五割負担からくらべ、まことにありがたいことと思います。

これは、大野村長さんの社会福祉政策への熱意からと深く感謝するとともに、国保を手かけた小生にとって、感銘

国民健康保険に思う

栗原 西田老人

受験シーズンを迎えて

生徒たちは、最後の追いこみとばかり夜遅くまで勉強している。体力的にもおとろえ、精神的にも不安に陥つて何かに追われているような気持ちで焦りがちになります。この時期は、少しのことで

松の内の楽しい気分が過ぎて三学期が始まりました。

この学期は各学年のしめくりと仕上げをする大切な時期であり、とくに最終学年の生徒たちにとっては、進学・就職にと、つらい受験シーズンでもあります。

親の虚栄心や盲愛から無理やりに進学せよと決めつけないよう、また、進学校を選ぶ場合も、子供の能力に応じた学校を選ぶよう十分子供の意志を尊重してやりましょう。

こどもの広場



ぼくのおとうさん

内城田小学校一年

まえだ たけし

ぼくは、おとうさんが、たかいところではしごとをしているのを見ると、「おちてこなかなあ」としんばいいます。まえに、がっこうのモーターがこしょうしたとき、おとうさんがすぐとんでいって、なおしたので、ぼくはとくいでした。

希望に
ももて

六年 坂谷二朗

内城田小学校六年 坂谷 二朗